

“住まい”の浸水対策について

～ 台風や集中豪雨から大切な“住まい”を守りましょう ～

地球温暖化や気候変動の影響により、台風の大型化やゲリラ豪雨など自然災害が頻発化・激甚化しています。市内でも令和元年東日本台風（台風第19号）により中心部を流れる田川が氾濫するなど、甚大な被害が発生しました。

そのような経験を踏まえ、本市では「総合治水・雨水対策推進計画」に基づき、河川整備などの雨水を「流す」取組や田んぼダムなどの雨水を「貯める」取組などを進めています。

また、もしもの災害に備え、被害を最小限に抑えるためには、①事前の避難情報の確認や②“住まい”の浸水対策など、市民の皆さんによる日頃からの「備える」取組も大切です。

いつ起こるか分からない災害から身を守るため、日ごろからの備えに取り組みましょう。

①ハザードマップなどで地域の災害リスクや避難情報を確認しましょう。

◆ お住まいの地域の災害リスクの確認

洪水や土砂災害などに「備える」ため、まずはハザードマップなどで、被害が予想される範囲や程度、もしもの際の避難経路や避難場所を事前に確認しておくことが重要です。

【市が提供している防災情報（ハザードマップ等）】



◆ 洪水ハザードマップ

想定しうる最大規模（概ね1,000年に1回程度超）の降雨により、鬼怒川・田川・姿川などの浸水被害が想定される区域や浸水深などを示したものです。

◆ 土砂災害ハザードマップ

土砂災害により、生命・身体に危害が生じる恐れがある区域を示したものです。

◆ ため池ハザードマップ

地震や大雨などにより、農業用ため池が決壊した場合に、浸水が想定される区域や深さなどを示したものです。

◆ わが家の防災マニュアル

市民のみなさまに防災への意識を高めていただくため、洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域や市内の避難所、各家庭での備えや災害時の防災知識などを紹介した冊子です。

【インターネット上で各種災害ハザード情報（洪水・土砂災害等）を閲覧できるサイト】

◆ とちぎ地図情報公開システム（栃木県）

◆ ハザードマップポータルサイト（国土交通省）

＼下のQRコードで、ハザードマップ等をご覧ください。／



洪水・土砂
災害ハザード
マップ



ため池
ハザード
マップ



わが家の
防災マニ
アル



とちぎ地図
情報公開
システム



ハザード
マップ
ポータル
サイト

事前の災害への備えについて、詳しくは中面をご覧ください。

中面へ

ハザードマップなどでお住まいの地域の災害リスクや避難情報を確認したうえで、お住まいの近くの避難所、避難経路の確認や家庭内備蓄・非常用持出品の準備など、ご自身やご家族の身の安全を守るための災害への備えに取り組みましょう。

災害時にすみやかに安全に避難できるよう、ハザードマップなどにより、安全な場所にある避難所や、避難できる親戚・知人宅等と、安全な避難経路を確認しておきましょう。



災害時に避難情報や気象警報等の情報を入手できるよう、情報入手手段をあらかじめ確保しましょう。

市の「登録制防災情報メール」に事前に登録しておくと、気象情報や避難情報、避難所開設情報などを受信できます。



「宇都宮市緊急告知機能付防災ラジオ」は、他の放送を聞いている時や電源が入っていない状態でも、大雨特別警報や避難情報等の緊急情報を放送します。

※防災ラジオの購入費の一部を補助しています。

詳しくは、危機管理課（☎028-632-2052）までお問い合わせください。



災害時に備え、自宅や避難所に避難するときに必要になるものを考えて、最低3日間程度生活できるように準備しましょう。

- ・ ☒ 貴重品
- ・ ☒ 飲料水・食料品
- ・ ☒ 照明・情報端末
- ・ ☒ 衣類
- ・ ☒ 応急医薬品
- ・ ☒ 生活用品 など



◆ 安全な場所にいる人は避難所に行く必要はありません。
◆ 安全な親戚・知人宅への避難も検討してください。

- ◆ 体調確認と非接触型体温計を使った検温の実施
- ◆ 家族間の距離を確保し、定期的な換気を実施
- ◆ 非接触型体温計・固形せっけん・マスクなどの感染症対策物資の配備



避難所、避難情報の発信などについて
行政経営部 危機管理課 ☎028-632-2052

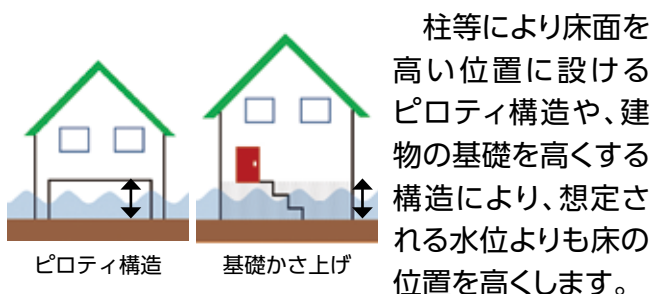
②住宅等の浸水リスクを考慮した建て方の工夫について検討しましょう。

浸水のおそれがあるエリア（浸水想定区域）で住宅等を新築・改築する場合は、浸水の可能性を考慮した建て方を工夫することなどにより、浸水リスクを低減することができます。

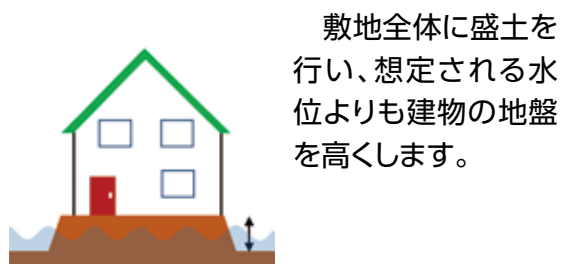
建築に際しては、個々の敷地・建物の状況に応じた専門的な検討が必要になりますので、建築士等にご相談ください。以下では主な浸水対策（例）を紹介します。

◆ 新築・改築する住宅等の主な浸水対策（例）

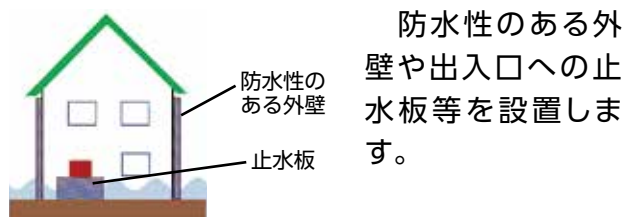
① ピロティ構造や基礎のかさ上げによる高床化



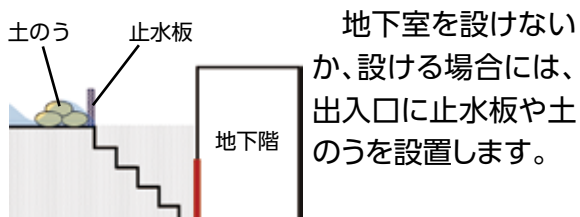
② 盛土による地盤のかさ上げ



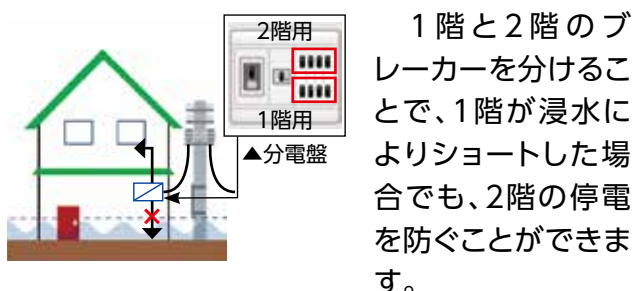
③ 防水性のある外壁材による耐水化、出入口への止水板の設置



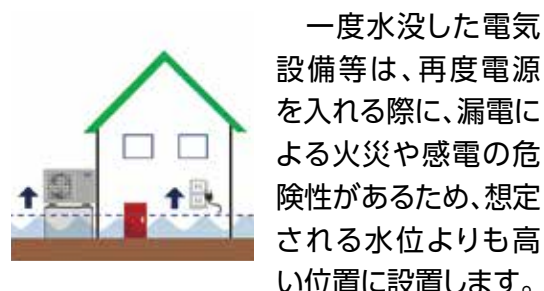
④ 地下階を設けないか、出入口への止水板等の設置



⑤ 1階と2階のブレーカーを分離

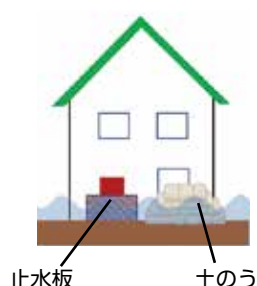


⑥ 電気機器や空調機器の室外機、給湯器等の高い位置への設置



◇ 既存の住宅等の主な浸水対策（例）

浸水を防止するための止水板や土のうの準備



出入口に止水板や土のうを設置することなどにより、建物内への水の侵入を防ぐ効果があります。

～希望されるご家庭に“土のう”を提供します～

住宅等の浸水対策として、土のうを希望されるご家庭に無料で提供しています。

数に限りがありますので、必要な方は電話等でご相談のうえ、土のう配布場所へお越しください。

- ・配布数：1世帯あたり10～20袋
- ・配布場所：都市基盤保全センター、各消防署・分署、各地区市民センター



◀ 配布場所は
こちらから

問合せ 建設部 都市基盤保全センター ☎028-661-0057

問い合わせ先一覧

以下は、住まいの防災情報などに関する問合せ先の一覧です。

①ハザードマップなどの防災情報に関すること

◆ 洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップに関すること

建設部 河川課（市役所8階）

☎028-632-2682

◆ ため池ハザードマップに関すること

経済部 農業企画課（市役所7階）

☎028-632-2474

◆ 「わが家の防災マニュアル」に関すること

◆ 災害に関する情報収集や備蓄品の準備に関すること

行政経営部 危機管理課（市役所4階）

☎028-632-2052

◆ 防災に関する「出前講座」に関すること

◆ 避難場所・避難情報に関すること

行政経営部 危機管理課（市役所4階）

☎028-632-2052

建設部 河川課（市役所8階）

☎028-632-2682

②住宅等の浸水リスクを考慮した建て方の工夫に関すること

◆ 建築全般に関するアドバイス

一般社団法人 栃木県建築士会

☎028-639-3150

一般社団法人 栃木県建築士事務所協会

☎028-621-3954

発行元

〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号

宇都宮市 都市整備部 都市計画課NCC推進室

建築指導課

住宅政策課

建設部

河川課

日ごろから、もしもの
災害に備えましょう！

